

〈3〉テーマ3：「2030年を見据え、新潟市のまちづくりはどのような方向に向かうべきか？」

No.	班	テーマに対する意見	集類した意見	集類したテーマ	
①	1	多様性の価値を認め合う。ユニバーサルデザインを取り入れた町へ。	全ての人にとって住みやすい多様性のあるまちをつくる。	共生社会の推進	
	2	障がい者やLGBTsなどの少数派の情報が不足している。孤独や辛さに追い詰められるケースがあるが、自分だけではないと知ることが救いになる。現状を可視化することが大切。福祉やジェンダーの教育が必要。			
	6	福祉サービスが弱いのでどの世代も住みやすいまちを目指そう。モデルとなるまちに。			
	4	共生（・教育、アニメ、啓発、YouTube ・差別、偏見のリアル、再現 ・子どもから）			
	6	障がいを抱えている人、病気を持っている人は住みづらい。高齢者だけでなく、どんな人も受け入れるまちがいい。			
	1	交通状況、観光情報などを知らせる標識や道案内などの情報が少ない。子どもからお年寄り、LGBTQs、みんなが容易に理解できる新潟ならではのピクトグラムがあるといいのではないか。			
	4	公共交通機関のハードはよいが、路線、乗員、車いす用のバス時刻表などのソフト面で障害者や外国人なども使いやすくなる			
	4	グローバリゼーションの社会を築く			
	8	外国の人は言葉などが壁になり、障害となるので、外国語表記などがあると良い。			多文化を理解し、外国人が生活しやすい環境を整える。
	4	全産業で外国人を受け入れやすくする、労働、技術がたりなければ外国人、外国から入れればよい			
	4	障害者、外国人等には新潟はあたたかくサービスや品質はよいが、偏見があるのでもっと理解を深まるまちになるとよい			
	4	日本人と外国人、障害者と健常者、視覚障害者と晴眼者、それぞれの文化の違いを、互いに触れ合い、理解を深め合う			
	8	言葉などが壁になり、障害者や外国人とコミュニケーションが取りづらく、孤立してしまう。	障がいのある人への理解を深め、暮らしやすい環境を整える。		
	4	車いすは大きいから瘧えて迷惑になるなどの偏見をなくす			
	4	障害者でもどのレストランにも行けるような差別のない社会			
	4	障害者、外国人等には新潟はあたたかくサービスや品質はよいが、偏見があるのでもっと理解を深まるまちになるとよい			
4	日本人と外国人、障害者と健常者、視覚障害者と晴眼者、それぞれの文化の違いを、互いに触れ合い、理解を深め合う				
8	言葉などが壁になり、障害者や外国人とコミュニケーションが取りづらく、孤立してしまう。				

出された意見のまとめ

②	7	移住してきて地域の事が分からない中の子育ては大変だから、子育て支援に新生児セットがあると心強いし子育てしやすくなる。(渋谷区参考)	子どもへの教育、子育て支援の充実を図り、子育てしやすいまちにする。	子育て支援の充実
	7	子育ての役立つ支援が弱い。実際に利用する人の目線になっていない		
	2	医療と教育に力を入れていくべき。		
	2	新潟の自然を生かした食育が大切。幼少期から自然に触れ、無農薬の野菜を積極的に食べる。食育から新潟のことを考え始めることができる。都市型自然を生かす支援をしてほしい。SDGsへ繋がる。		
③	6	福祉サービスが弱いのでどの世代も住みやすいまちを目指そう。モデルとなるまちに。	福祉を充実させて、住みやすいまちをつくる。	福祉の充実
	4	現状でも福祉が充実しているかもっと充実したい社会になるとよい		
	6	障がいを抱えている人、病気を持っている人は住みづらい。高齢者だけでなく、どんな人も受け入れるまちがいい。		
	2	医療と教育に力を入れていくべき。		
④	9	2030年、ゼロカーボン・脱炭素を目指す！	脱炭素社会の実現に向け、環境に優しく自然を生かした持続的なまちづくりをする。	自然との共存、脱炭素
	6	自然をもっと生かさそう！		
	1	新潟の美味しい食べ物は豊かな自然無くしては生まれない。近年の気候変動や異常気象などの影響で、農業のやり方も毎年変えなくてはならず苦労している。産地間の協働なども必要だ。カーボンニュートラルへ向け、ICTやAI技術支援を進め、持続可能な農業にしていくことが大切		
	2	新潟の自然を生かした食育が大切。幼少期から自然に触れ、無農薬の野菜を積極的に食べる。食育から新潟のことを考え始めることができる。都市型自然を生かす支援をしてほしい。SDGsへ繋がる。		
⑤	1	新潟の魅力をもっとPRすべき	新潟市の絶対的な魅力をつくり、さらに魅力をもっと外部に発信すべき	魅力の創出・発信
	5	新潟はもっと外へ発信すべき。国際交流は県と市の連携がない。		
	6	新潟市の情報をもっとアップしよう！		
	6	支援がよくない、ほしいものがすぐに見つけられるHPがあるといい。		
	8	地域をPRし移住者を増やす。		
	9	古町や空き家を利用して新しい店を出している人がいる。こういう情報を若者に周知していくことで若い人が集まる。		
	6	長岡(花火)のように、全国から人が来るようなまちを目指そう！もっとお金の動くまちに！		
	3	動物園などがある		
	9	新潟にはいろいろ魅力はあるが、絶対的な魅力に欠ける。		
	9	食べ物が美味しいというだけでは弱い。		
	9	新潟市の日本一を作る。		
	9	「踊る阿呆と見る阿呆」騒いでいる人と見守る人の両方が楽しめる、多様な関わり方ができる祭りになりたい。		
	5	アートを利用するといいのでは。		
	5	大地の芸術祭は盛り上がっているが、水と土の芸術祭はなぜダメなの？		
5	活動している人の後押しが足りない。観光、スポーツ、アート、酒と食を柱にしよう。			

出された意見のまとめ

⑥	1	高齢者支援ばかりが手厚いようだが、高校生の通学支援や、就農支援など、若者を支援する仕組みづくりが必要。	若い人が輝けるような支援体制をつくる。	若者への支援
	9	新潟を目指して学びや仕事に来る人を増やす(今の新潟市では若い人が学べない、働けない。県外の大学へ行き就職で新潟に帰ってきてたくても、魅力的な働き先がなく帰ってこれない)。		
	9	Uターンしたいと思っている若い人たちに希望を与えたい。		
	9	ローカルキャリアを積んでいるかっこいい大人と学生が出会う場所を作る。→学校や教育委員会に働きかけて！教育委員会の壁をぶち壊せ！		
	9	若い人が課題を認知し、解決できるための体制を整えたい。		
	3	夢と希望があるまち、夢を与えるまち、かなえるまち		
	3	県外への人口流出を抑える		
	9	若者中心になりすぎないことも大事。		
⑦	6	企業自体が裕福にならないと持続的に発展しない。新潟市と企業の力を相互的に高めよう。	企業に力があり、誰もが働きやすい、起業しやすいまちにする。	企業・働く人への支援
	7	フリーランスの働く環境を良くしてほしい		
	7	空き店舗の活用として、起業する人に有効活用できると嬉しい。情報拠点など。		
⑧	7	現金がメインだが、インフラを強化しキャッシュレスをもっと多様化するとよい。電子マネーの遅れ。	IT環境を整備し、リモートビジネスがしやすい、場所を選ばず仕事ができるまちにする。	IT環境の充実
	7	新潟でも東京の仕事をしている人が多くいるので、WIFI環境、インフラ整備は必須項目。		
	7	ビジネスに必要なインフラ整備(WIFI,コピー)		
	9	新潟にいながら大企業勤めや多様な仕事ができるよう、リモートワークの環境を整える。そうすることで新潟に留める事ができるのでは。		
⑨	3	公園利活用(Re活用)事業(水辺の会、アルビ、商工団体、若者)として公園を活用し、管理を多様化することでにぎわいを創出する	人が集まる場をつくり、人と人がつながるコミュニティの構築を強化する。	コミュニティの強化
	3	公園などの公共空間を活かし、交流の場、人が集まる場を増やす		
	8	人と触れ合えるコミュニティが必要。それは、サードプレイスや農業体験もそのひとつかもしれない。		
	2	地域コミュニティを作りたくて農園を始めた。学校開放を広げたり、空き家を利用したり、居場所として活用できる。		
	6	農業を生かした体験事業があるといい。おじいちゃん×子どもたちを企業がつなぐ。		
	7	防災支援や地域での防災を強化できる仕組みが必要。防災グッズの期限切れなど促す仕組みはあるのか。		
	8	田舎なのに横の繋がりがないので、もっと触れ合える地域。		
	8	オンラインは年代、地域を超えたコミュニティの場になる。(LINE、ZOOM)		
	8	東区では、町内LINE、ZOOMグループがある。		
	8	人と人のつながりが必要で、言い合える環境を整備したら良くなる。		
	8	伝える、話せる場があると住みやすくなる。		
	8	新潟の魅力を活かしながら新たな取り組みに、支援やコミュニティがあると地域が良くなる。		

出された意見のまとめ

	8	これからもっとコミュニケーションの場が必要で、地域の知らないことを知ることで繋がりができる。(人、場、現状の状況)		
	8	人と繋がる場づくりが必要。		
	8	自分達は比較的平和に暮らしているが、子供たちや若者他に支援、お金、コミュニティの場に目を向ける必要がある。		
	8	今もコミュニティの場があるが、現状では足りていない。		
	8	言えるは癒える、言う気は勇氣！ リハビリが必要。		
	8	コミュニケーション不足からの自殺率が増えている。		
	8	繋がりをつくるコミュニティが大事、子供～年配者の場づくりが必要		
	2	高齢者が健康に元気に過ごす秘訣は、「きょういく」「きょうよう」＝「今日、行くところ」「今日、用がある」。今日行くところや用事があるということが、心身の励みになる。		
⑩	5	新潟は時が止まっているような感覚がある。空き家を外国人に貸して活気づけるのは？	既存の公共空間などを有効活用して、持続的なまちづくりを進めていく。	持続的なまちづくり
	5	新潟は変わっていない。まちとして進化していない。元気がなくなっている。都会になる必要はないが、アップデートは必要。例えば長岡は人が優しい。		
	5	観光地を目指すのか？安全で住みやすいまちなのは大前提。三条や燕は発信を繋げて動き始めている。		
	6	持続的なまちづくりを進めていこう。		
	3	公共空間、川、港を活用する(放課後のデイサービスをスポーツ公園に)		
	3	雪や雨につよい施設の充実として、屋根のある公園・公共空間が必要(寺山公園-全天候型)		
	7	公園の遊具が少ない。		
	7	空き家を公園のようなポケットパークに変えて、歩いて楽しいまちにしたい。車社会からの切り替え。		
	7	謎の空き地を無くしてなにか(公園とか)有効利用してほしい。		
	7	空き地を有効的に使いたい。地域で管理や利用できる仕組み。		
	9	大人が佇める空間が欲しい		
3	車のいらないまち(自動運行)を目指し、「緑」、「水辺」、「歩く」(昭和記念公園がイメージ)を大切にすまち			
⑪	3	プライベートモビリティ(自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗りの車両)の普及を図る。	新潟市全体の交通環境を時代に即して整える	交通環境の向上
	3	車のいらないまち(自動運行)を目指し、「緑」、「水辺」、「歩く」(昭和記念公園がイメージ)を大切にすまち		
	4	中央区以外は歩みにくいので他の区も中央区と同等に整備される		
	5	魅力を伝えても交通の便が悪く行きづらい。		
	7	駅からのアクセスをもっと手軽な価格で使いやすいようにしてほしい。		
	6	公共交通機関を発達させる。長岡は発達している！		
	8	交通環境は地域に差があるので、もっと移動が便利になるように見直しすと動きやすくなる。		
	8	交通費は経済的な負担になるので、新しいモビリティや乗り合いバスがあれば安く移動できるから生活に負担が少なくなるので良い。		
	9	かっこいいシニアカー(時速15～20km)で走行できる道路空間があると良い。		

9	自転車道、歩行者道、中速で走れる道路など、安全に通行できる空間を整備して欲しい。	
9	ドローンの活用で道の使い方が変わるのでは。	
6	車が運転できなくてもOKなまちがいい。	

出された意見のまとめ

